

新潟の食を通じて、健全な心身を培い、豊かな人間性を育む

基本理念

柱	目標	評価指標	事業指標	事業名	資料4 スライド番号
1 生涯にわたる健康づくりを支える食育の推進	健康づくりのための望ましい食生活を意識し、実践する県民を増やします	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合(20歳以上)	主食・主菜・副菜のそろった食事について取組を推進する市町村数	健康立県にいがた推進事業【健支】 ※柱3へ再掲	2
		ふだんの食事で主食・主菜・副菜をそろえることを意識している人の割合(20歳以上)	減塩の取組を推進する市町村数	生活習慣病予防対策推進事業【健支】 ※柱2(2)、3へ再掲	3・4
		ふだんの食事で減塩に取り組む県民の割合(20歳以上)	食生活改善推進員による健康立県啓発事業の啓発数(回数、人数)	健康長寿推進事業【健支】 ※柱3へ再掲	4
		ゆっくりよく噛んで食べている県民の割合(20歳以上)	小学生保護者向け啓発事業の啓発数(実施校数、実施した学校の割合、啓発人数)	自然に健康な食事ができる取組促進事業【健支】 ※柱3へ再掲	5
			食生活の改善に取り組むにいがた健康経営推進企業数	栄養士研修事業【健支】	-
			けんこうtime推進店登録数	新潟県食生活改善推進委員協議会事業活動費補助金【健支】 ※柱2(2)、3へ再掲	-
			ゆっくりよく噛んで食べることにする取組を実施している市町村数	特定給食施設等指導事業【健支】 ※柱2(2)へ再掲	-
				調理師教育事業【健支】 ※柱2(2)へ再掲	-
				食の安全・安心推進事業【生衛】	7
				8020運動推進特別事業【健支】 ※柱2(2)へ再掲	8
2 持続可能な新潟の食を支える食育の推進	(1)新潟の食の理解と実践するための食育の推進	産地や生産者、生産方法等を意識して農林水産物・食品を選ぶ県民の割合(20歳以上)	食育ボランティア(活動延べ人数)	「うまいに、まっすぐ。新潟県」ブランドイメージ構築事業【食流】	9
			学校給食における県産農林水産物を使用する割合(金額ベース)	新潟県青果物消費拡大推進事業【食流】	-
			学校給食における国産農林水産物を使用する割合(金額ベース)	にいがた園芸農産物宣伝会(食流)	-
			にいがたエコファーマー認定数	食育ボランティア【食流】	-
			小中学校等での地場産物を活用した食に関する指導数	米粉の食育推進事業【食流】	-
				畜産振興推進事業【畜産】	10
				健康教育研修費【保体】 ※柱3へ再掲	11
				食育推進費【保体】 ※柱3へ再掲	11
				持続可能な農業県推進事業【農園】	12
				にいがたグリーンツーリズム推進強化事業【地農】	13
(2)食品ロス削減や災害時の食の備えに対応した食育の推進	食品ロス削減や災害時の食の備えを実践する県民を増やします	食品ロス削減のために複数の取組を実践する県民の割合	「残さず食べよう！にいがた県民運動」の参加者数		
		災害時でもバランスのとれた食事ができる食品を備蓄している県民の割合	災害時でもバランスのとれた食事ができる食品備蓄の推進に取り組む市町村数	食品ロス削減等3R普及推進費【資循】	16
3 新潟県の将来を担う若い世代への食育の推進	将来に向けて、望ましい食生活を実践する若い世代を増やします	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合(20～30歳代)	小中学校等での食に関する指導の全体計画を作成・実施している割合	母子手帳を通じた情報提供【健支】	17
		朝食を欠食する県民の割合(小学6年生)	主食・主菜・副菜のそろった食事について取組を推進する市町村数(20～30歳代への啓発等)	保育士等キャリアアップ研修事業【こ家】	18
		朝食を欠食する県民の割合(20～30歳代)	減塩の取組を推進する市町村数(20～30歳代への啓発等)	高等学校での教育機会の提供【高等】	19
			食生活改善推進員による健康立県啓発事業の啓発数(こども・若い世代)(回数、人数)	つながりの場づくり支援事業【こ家】	20
			小学生保護者向け啓発事業の啓発数(実施校数・割合、啓発人数)【再掲】		
全体に関連する指標		食育に関心を持っている県民の割合(20歳以上)			